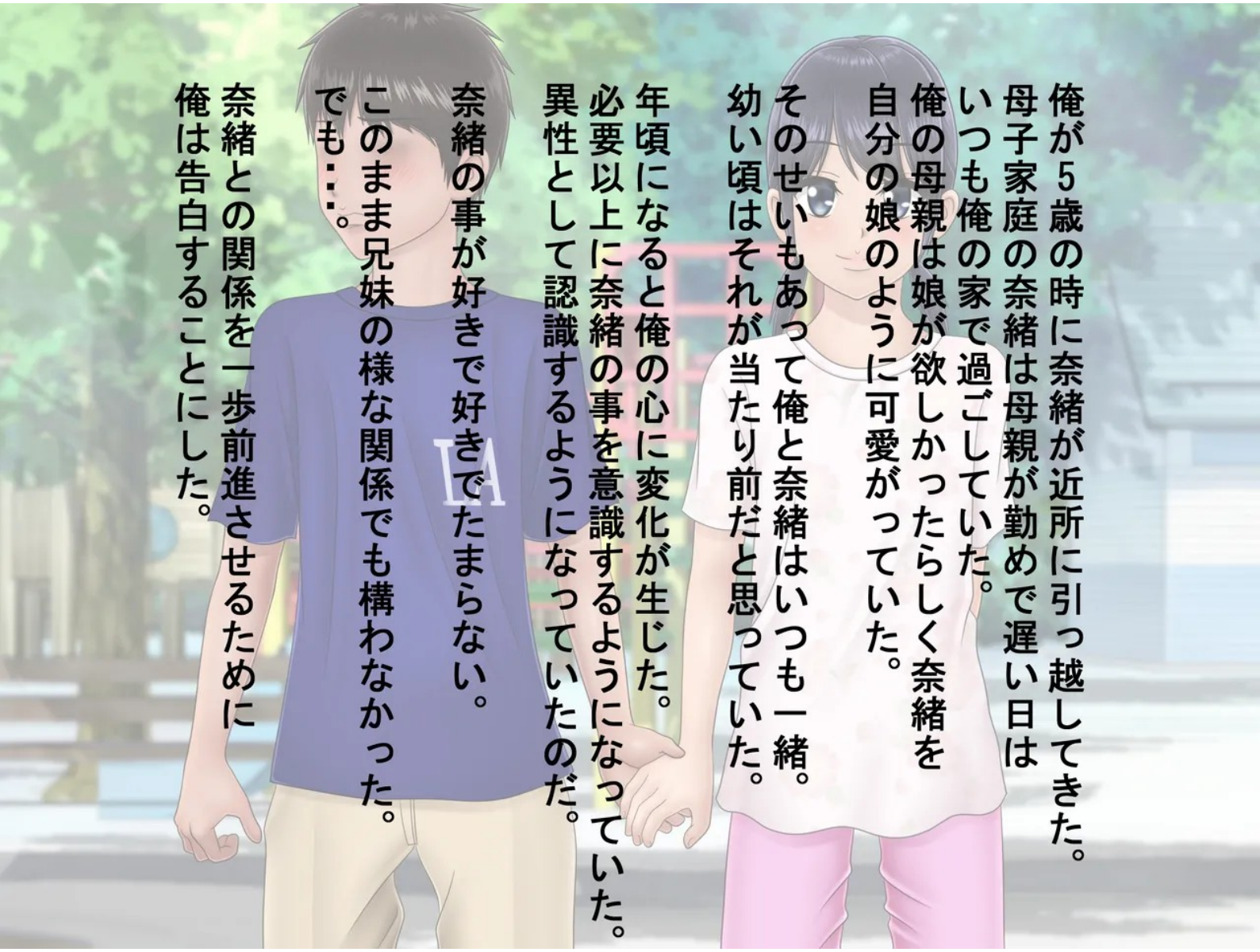
LA
入谷圭介
倉見奈緒


俺が5歳の時に奈緒が近所に引っ越してきた。
母子家庭の奈緒は母親が勤めで遅い日は
いつも俺の家で過ごしていた。
俺の母親は娘が欲しかったらしく奈緒を
自分の娘のように可愛がっていた。
そのせいもあって俺と奈緒はいつも一緒。
幼い頃はそれが当たり前だと思っていた。
年頃になると俺の心に変化が生じた。
必要以上に奈緒の事を意識するようになっていた。
異性として認識するようになっていたのだ。
奈緒の事が好きで好きでたまらない。
このまま兄妹の様な関係でも構わなかった。
でも…。
奈緒との関係を一歩前進させるために
俺は告白することにした。

な、泣くことはないだろ？
ごめん…嬉しくて…
で…どうかな？

良いに決まってるじゃん！
私も圭くんの事が大好きだから♥

恋人になったのは嬉しいんだが
いつも以上に奈緒がベタベタ
するようになった…
なぁ奈緒…
くっつき過ぎ
じゃないか？

別にいいじゃん！
私達付き合ってるんだから♥
そうだけど・・・
それより・・・
今日学校終わったら
ウチに来ない？
母さんパートで帰り
遅いんだ・・・

今日おばさんいないんだ…
ど、どうかな？
えっ？
うん…良いよ♥
ああ…
うん…じゃぁ…

放課後

今日母さん6時まで帰ってこないから・・・
うん・・・

奈緒…
圭くん…♥

ただいま～
圭介～
奈緒ちゃん来てるの？
ちょっと下降りて来なさい
お茶菓子買って来たから～

ちょっとぉ～
圭介～
!?
マジかよ～
なんで・・・
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

おばさん…
かえって来ちゃったね…
はぁ～っ
6時まで帰れないって
言ってたのに何でこんなに
早く帰って来るんだよ！

ったく…
何で今日に限って早く帰って来るんだよ…
まだ言ってる！
私達付き合ってるんだから…その…いつでもできるじゃん
ああ…そうだなそれじゃぁな
うん♥また明日…

翌日
ねぇ圭くん…
どうした？
よかったら今度
私の家で…する？
ウチならお母さんいつも
仕事で遅いから…
奈緒の家かぁ…
なんかおばさんに
悪いなぁ…

もう！
いまさら何言ってるのよ！
いつも圭君の家でしてるのに！
うん♥
分かった！
今日行くよ・・・

その日の午後学校に連絡が入った。
奈緒の母親が職場で倒れたのだ。
奈緒は急いで病院に向かい俺は授業が
終わってから奈緒とおばさんの元へ
駆け付けた。

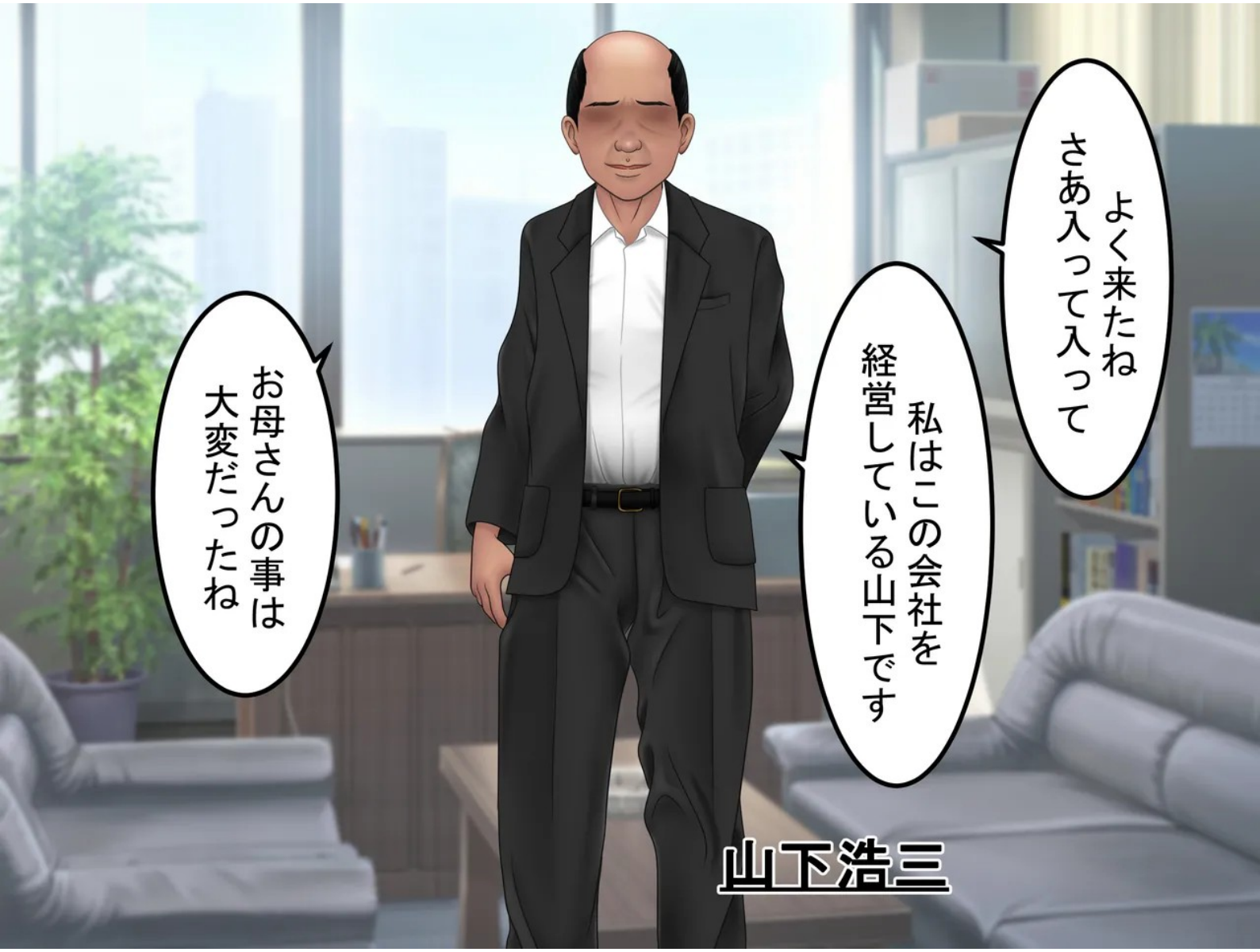
奈緒…
おまえ大丈夫か？
！
圭くん…

ありがとう…
来てくれたんだ
おばさんの
容態はどうだ？
今ちょうど眠ったところ
あと心配しないで…
命には別条ないって
そうか…良かった

じゃぁお見舞いは
日を改めたほうが良いな
うん・・・ありがとう
かなり疲れが溜まっていたみたい
お母さん私のためにいつも
頑張ってたから・・・
少し休めば元気になるって
お医者さんに言われた

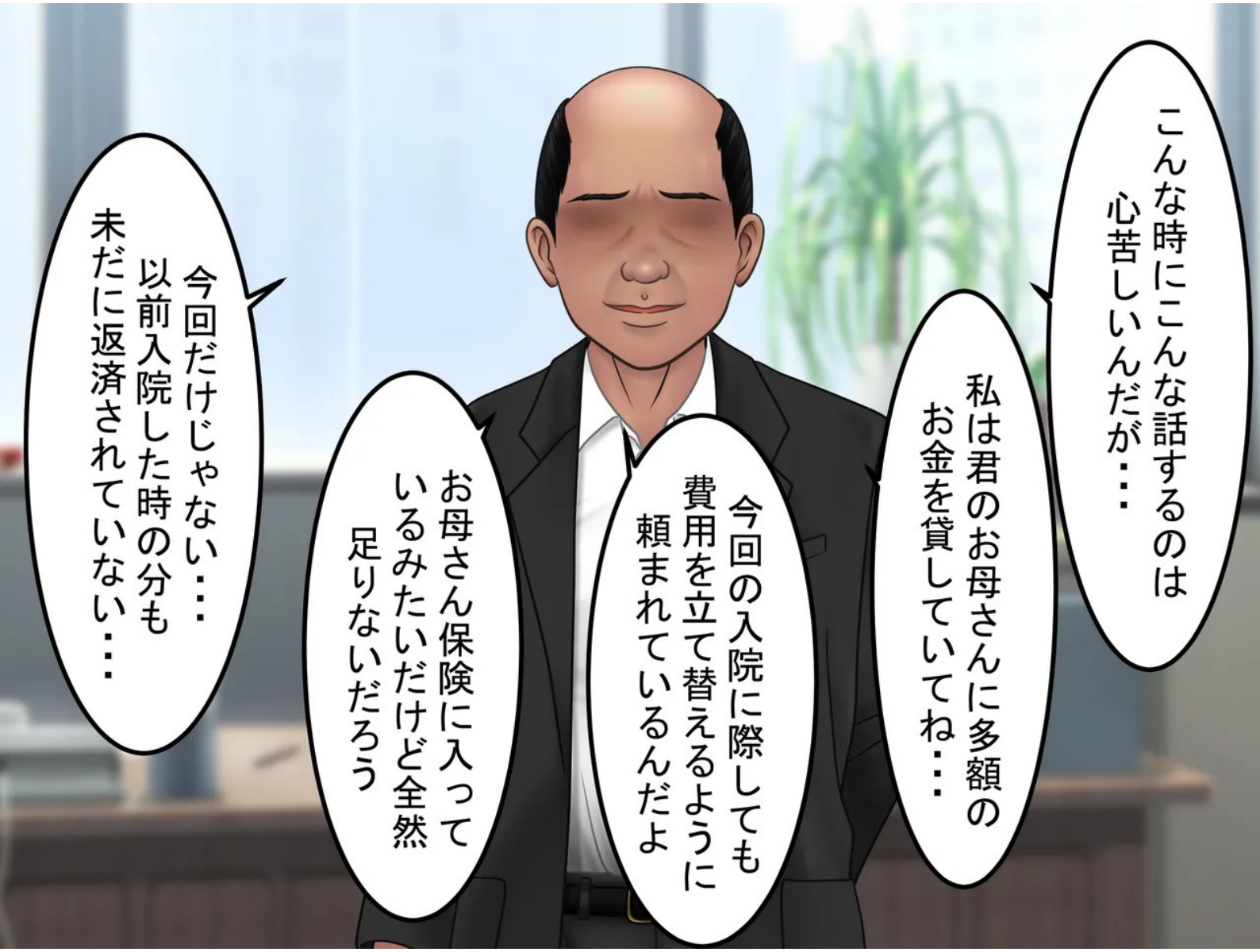
翌日
今日学校おわおばさんのお見舞い行って良いか？
圭くんごめんね…今日お母さんの勤め先の会社に行かなきゃいけないの…
そこの社長さんがお母さん倒れた時にいろいろしてくれてね…
今後の事とか相談に乗ってくれるって言うのそれにお礼も言わなくちゃ
そうなんだ…じゃぁお見舞いは俺一人で行くか…

放課後

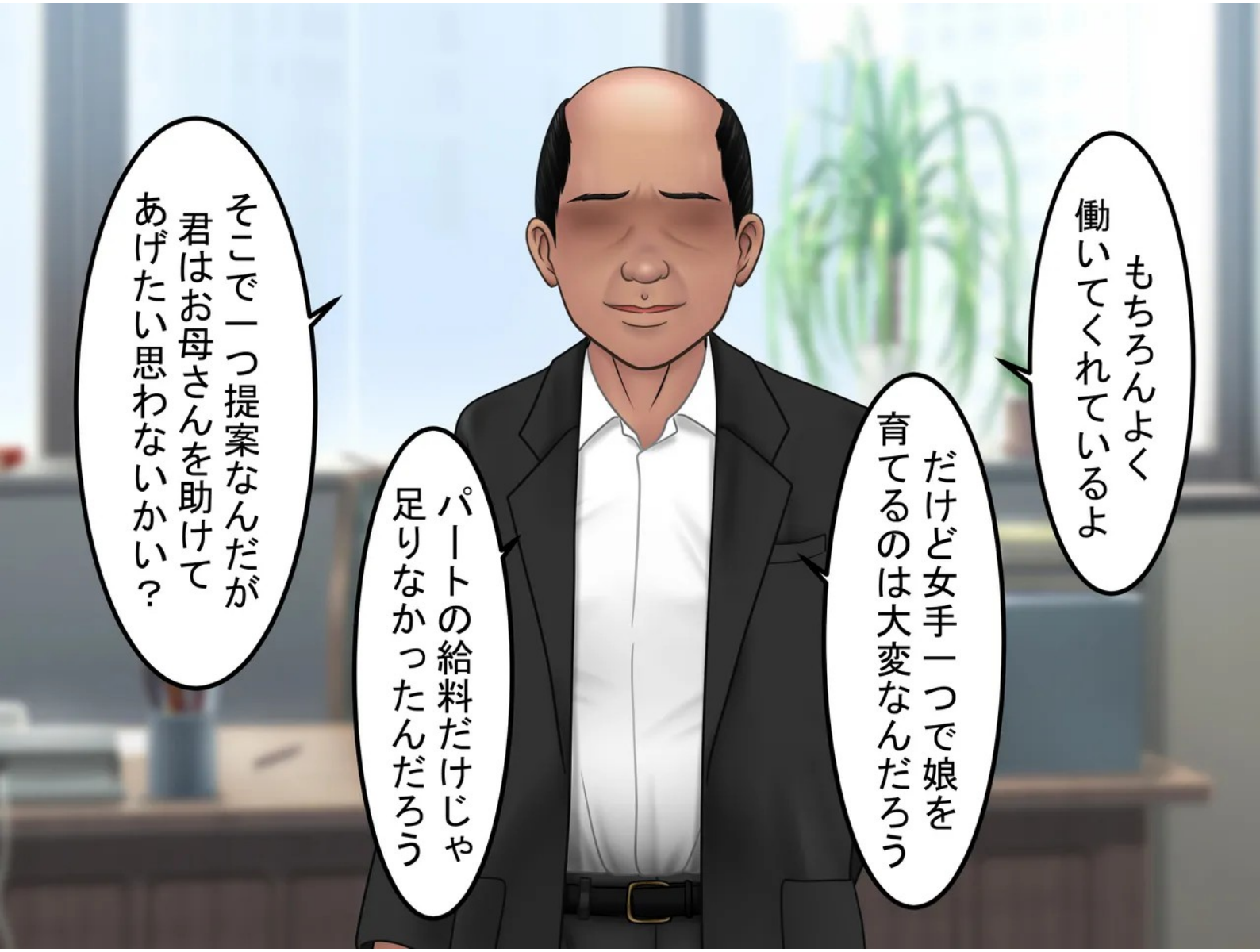

よく来たね
さあ入って入って
私はこの会社を
経営している山下です
お母さんの事は
大変だったね
山下浩三

初めまして…
倉見の娘の奈緒です
この度は母の事でいろいろ
尽力してくださって
ありがとうございました
なかなかしっかり
した娘さんだね
お母さんはいつも頑張って
働いてくれているから
当然の事をしたまでだよ

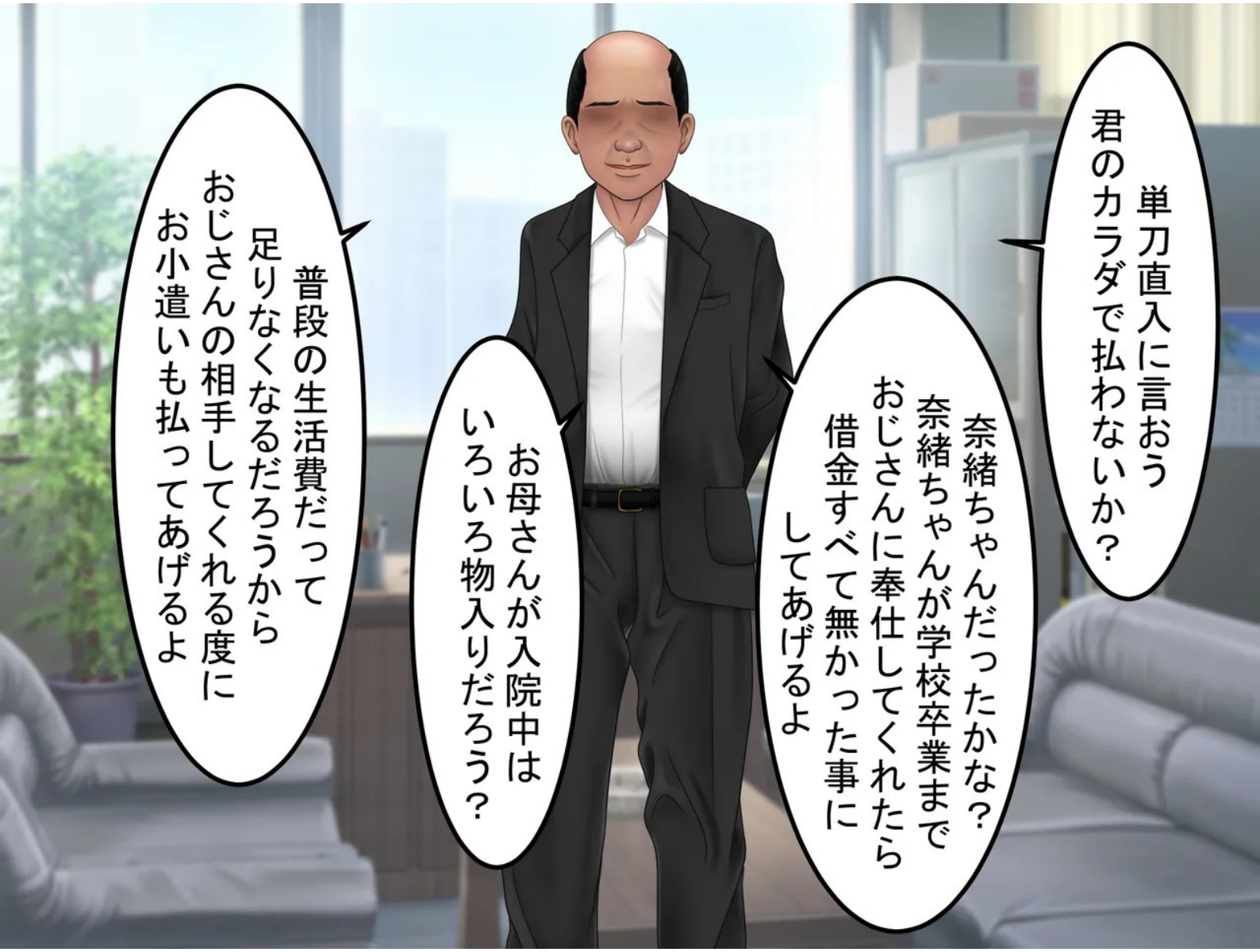
はい？
倉見さんの娘さんだけあってなかなかじゃないか…


こんな時にこんな話するのは心苦しいんだが…
私は君のお母さんに多額のお金を貸していてね…
今回の入院に際しても費用を立て替えるように頼まれているんだよ
お母さん保険に入っているみたいだけど全然足りないだろう
今回だけじゃない…以前入院した時の分も未だに返済されていない…

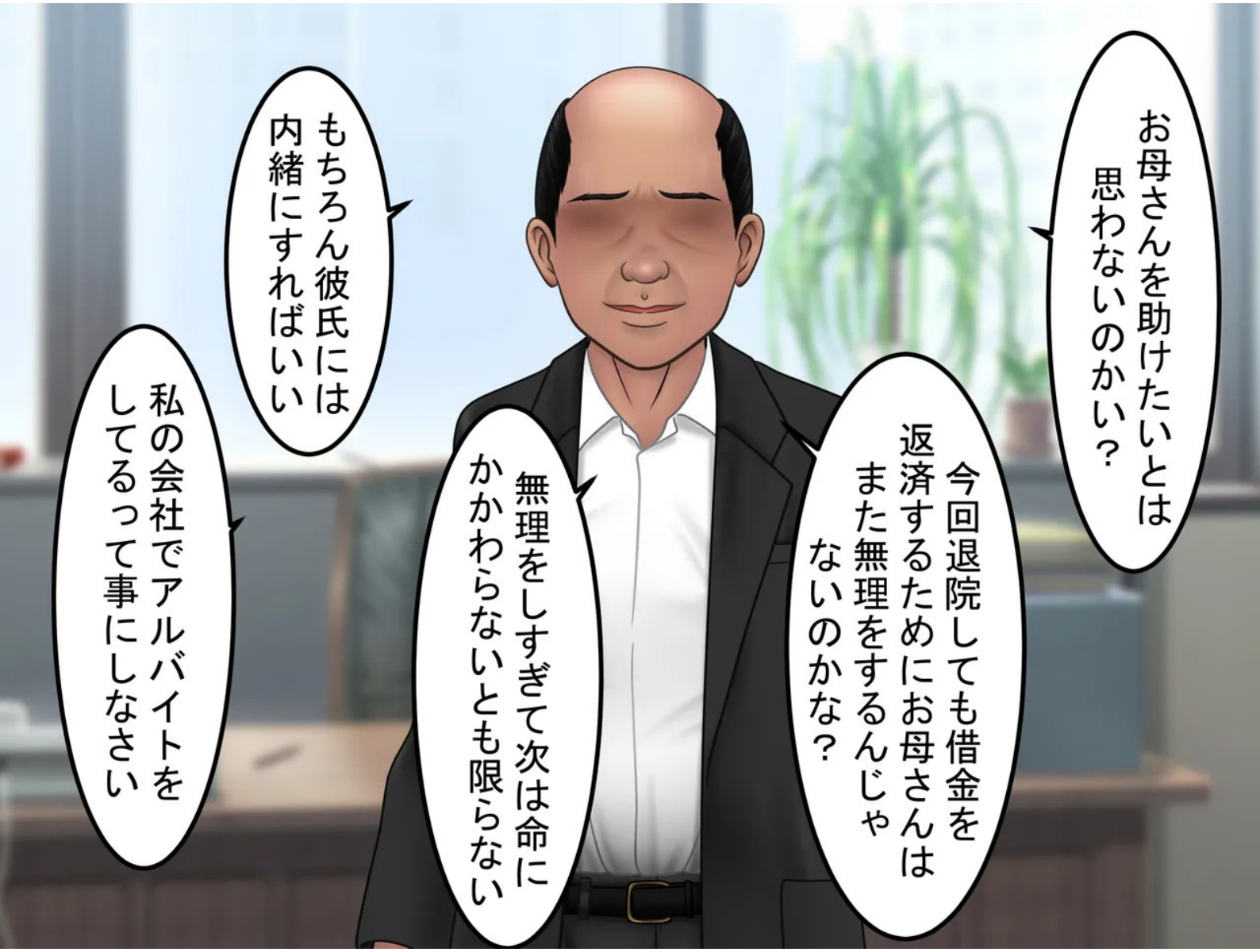
えっ!?
……い、幾ら位なんですか？
そうだなぁ…今回の費用合わせて三百万位かな
そんなに!?
でも…さっきお母さんよく働いてくれるって…


もちろんよく働いてくれているよ
だけど女手一つで娘を育てるのは大変なんだろう
パートの給料だけじゃ足りなかったんだろう
そこで一つ提案なんだが君はお母さんを助けてあげたい思わないかい？

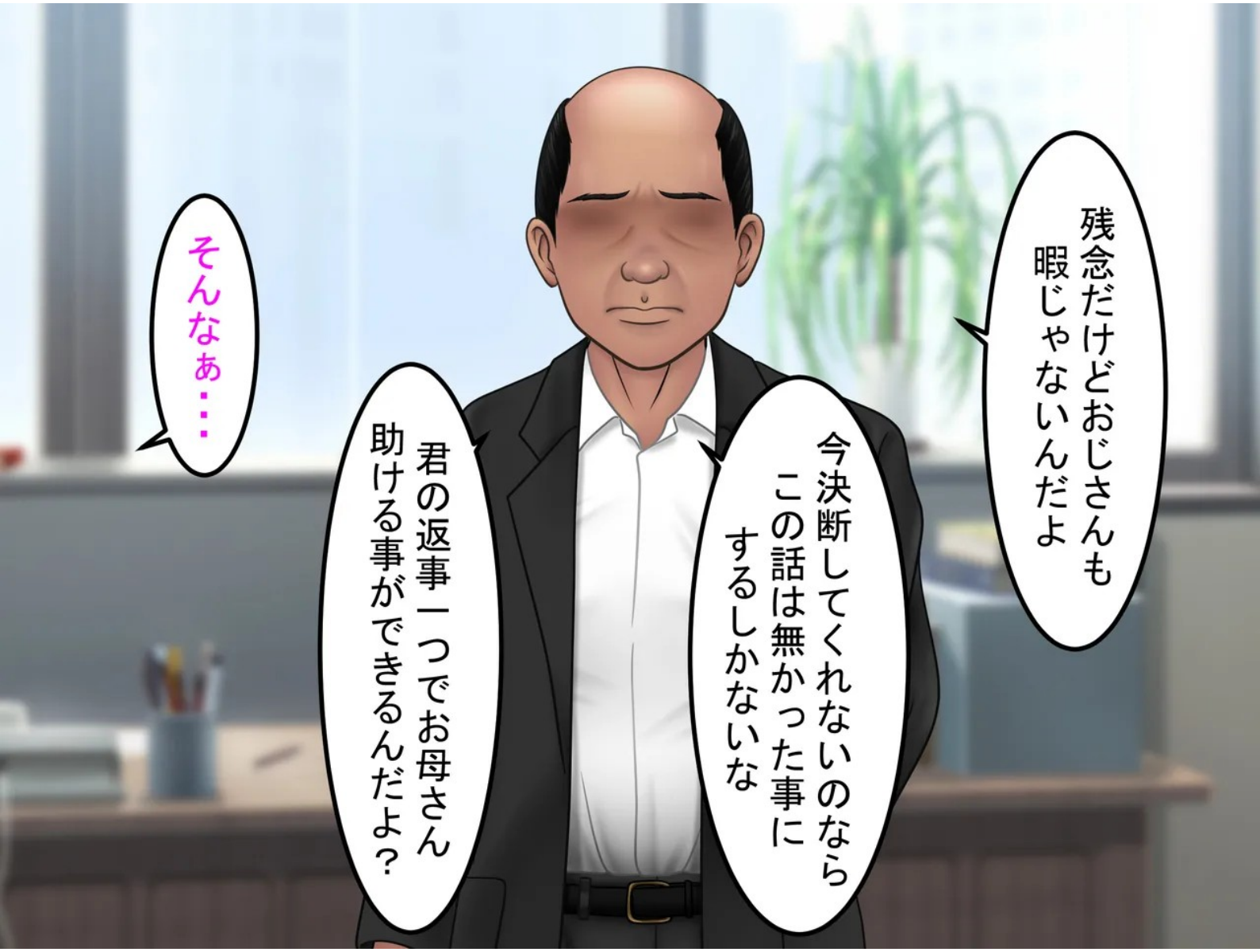
もちろん助けたいです
でも・・・
私まだ学生ですし
三百万なんて大金
どうしたらいいか・・・
そうだねぇ・・・
仮に学校辞めて
働いたところで
すぐにどうにかできる
金額じゃないよね
それに
お母さんの今までの
苦労がすべて
無駄になる


単刀直入に言おう
君のカラダで払わないか？
奈緒ちゃんだったかな？
奈緒ちゃんが学校卒業まで
おじさんに奉仕してくれたら
借金すべて無かった事に
してあげるよ
お母さんが入院中は
いろいろ物入りだろう？
普段の生活費だって
足りなくなるだろうから
おじさんの相手してくれる度に
お小遣いも払ってあげるよ

急にそんな事言われても困ります！
私付き合っている人もいますし…
だから…


お母さんを助けたいとは思わないのかい？
今回退院しても借金を返済するためにお母さんはまた無理をするんじゃないのかな？
無理をしすぎて次は命にかかわらないとも限らない
もちろん彼氏には内緒にすればいい
私の会社でアルバイトをしてるって事にしなさい

でも…
……
お母さん助けてあげたいだろ？
今までお母さんに苦労かけてきたんだ
今度は奈緒ちゃん…
君が助けなきゃ
少し…少し考えさせてもらえますか…


残念だけどおじさんも暇じゃないんだよ
今決断してくれないのならこの話は無かった事にするしかないな
君の返事一つでお母さん助ける事ができるんだよ？
そんなぁ…

お母さん助けたいだろ？
……
…はい
わかりました
えっ!?
そうか！
よく決断してくれたね
それじゃぁさっそく

決意が揺るがないようにこっちに来ておじさんのおち〇ちんしゃぶってよ
ちょ、ちょっといきなり何出してるんですか！
ほら早く来なさい
ボロン

ここでするんですか⁉
今の時間は誰も近づかないように言ってあるから
でも・・・私こういう事したことがなくて・・・
してくれって言われ無かったから・・・
彼氏のはしてあげたこと無いの？

じゃあおじさんが
一から教えてあげるから
ほら！
おち〇ちん
咥えようか
ううううっ・・・

初々しくて良いねぇ
前後に動かしてみようか！
臭い…
何でこんな
おじさんのを…
ううっ…
…ごめん
圭くん…
ぱくっ

良いよ奈緒ちゃん！
初めてなのに上手いねぇ
こんな可愛い娘に
おじさんち〇ぽ咥えて
貰えるなんて幸せだよ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

良いよ奈緒ちゃん
凄く良い
えっ⁉
ほらもっと速く
動かして…
ごほっ…
そう…舌も
使って…
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

奈緒ちゃん
気持ち良いよ
気持ち良すぎておじさん
もうイっちゃいそうだよ
うううっ…
えっ⁉
ちょっと…
待って‼
口の中って…
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
このまま口の
中に出すよ‼

イくぞ!!
ううううっ・・・
最悪・・・
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ドクドク
ドクドク
どぷっ

そのままじゅるじゅるって
吸ってごっくん！
ううううっ・・・
えっ!?
まだやるの？
ちゃんとできたね！
それじゃぁもう一回
行こうか！
じゅる
じゅるっ
じゅるるるる

良いよぉ奈緒ちゃん
苦しい・・・
気持ち良すぎておじさん
またすぐにイっちゃうよぉ
うううっ・・・
はぁ
はぁ
はぁ
じゅぷっ
じゅぷっ

ゲホッ
ゲホッ
奈緒ちゃん！ダメだよ
いきなり口を離したら・・・

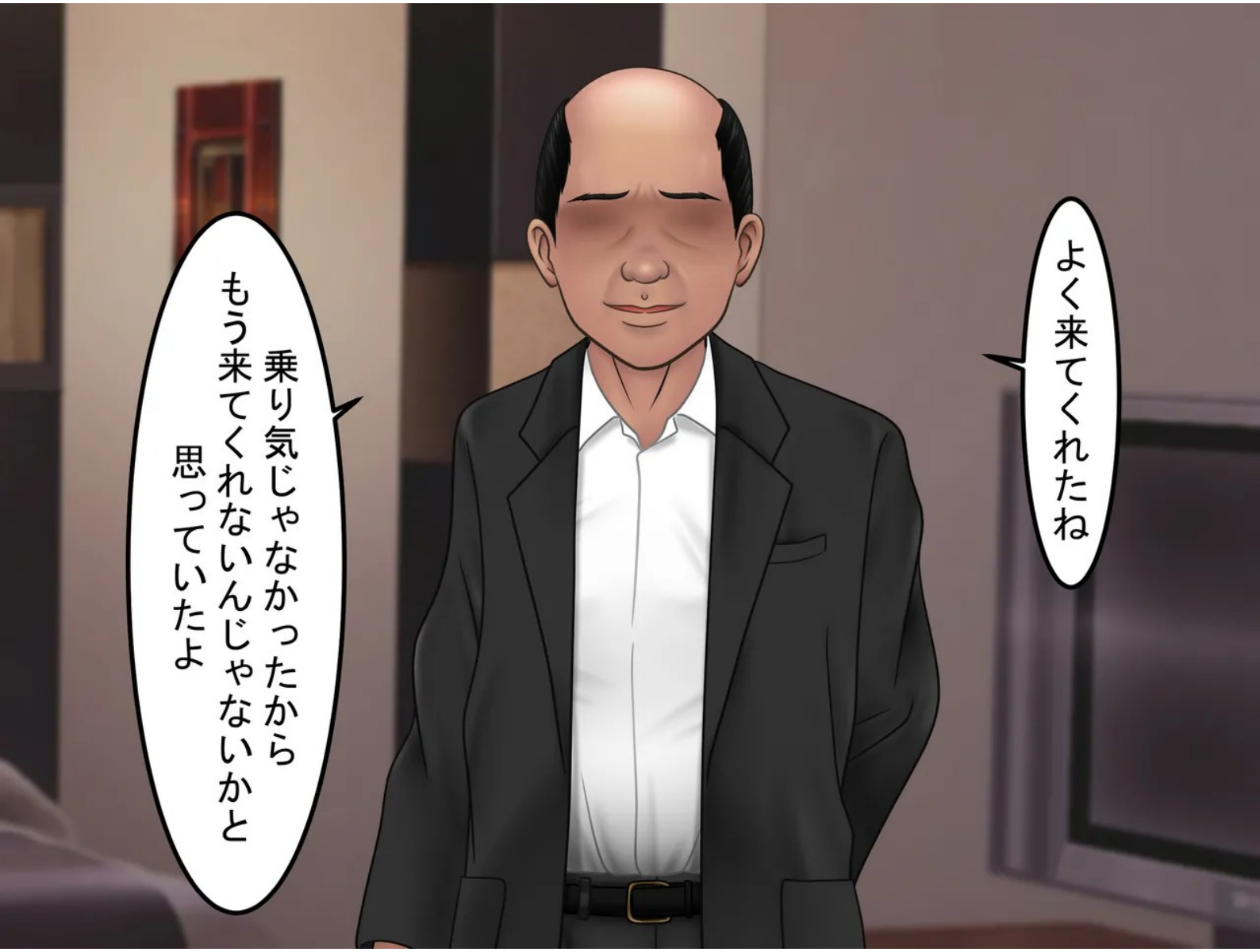
えっ!?
きゃあっ!!
どぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ

顔全体にかかっちゃったね
はあっはあっはあっ・・・
今日はこれくらいにしておこうか
これからよろしくな！
奈緒ちゃん

翌日
昨日おばさんのお見舞い
行ってきたよ
思ったよりも
元気そうで良かった
奈緒？
なぁ聞いてるのか？

あっ…ごめん
ちょっと考え事してて
おばさん思ったよりも
元気で良かったなって…
うん…ありがとう
でも少し静養のために
入院するみたいなんだ
そうなんだ
なにか困った事があれば
俺に相談しろよ

ありがとう・・・圭くん
あと私ね週二日程アルバイトする事になったんだ・・・
えっ⁉そうなの？
うん・・・
お母さんの勤め先の社長さんがこれからいろいろ物入りになるだろうからって雇ってくれたんだ・・・
そうなんだ・・・でもあまり無理するなよ
うん・・・ありがとう・・・


よく来てくれたね
乗り気じゃなかったから
もう来てくれないんじゃないかと
思っていたよ

母のためです
でなければこんな事
しようとは思いません
ははははっ
正直で良いねぇ
じゃあさっそく始めようか
こっちに来なさい

気持ち悪い…
ペロ
うっ…

気持ち悪い…
気持ち悪い…
ほらっ！
奈緒ちゃんも
舌を出して…

気持ち悪い気持ち悪い
気持ち悪い・・・
ぶちゅっ
うううっ・・・
やだよ・・・助けて・・・

うううっ…
もうやだ……
早く終わって…

おっぱい大きいねぇ
お母さん譲りかな？
張りも良い
おじさん大好物だよ
ぶちゅっ
ちゅぱっ
ううっ・・・

息が荒くなってきたね
気持ち良いなら素直に
声に出したら良いのに
ち、違います…
じゃあ下のお口に
直接聞いてみるかな
はぁ
はぁ
はぁ
レロレロ
レロ
レロ

奈緒ちゃんのおま○こにおつゆが溜まっているみたいだけど
ち、違います
カプッ
はぁ
はぁ
はぁ
くぱぁ

ああっ…
おつゆが溢れ出しちゃったね
ううっ…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ビクン!
トロッ

おじさんもう
我慢できないよ
奈緒ちゃんのトロトロおま○こに
おじさんち○ぽ入れてあげるね
はぁ
はぁ
はぁ
奈緒ちゃんも早く
入れて欲しいでしょ
欲しくないです!!

お待ちかねの
おじさんち○ぽだよ
早く奈緒ちゃんの膣(なか)に
入れたくてこんなに
ギンギンになってるよ
圭くんごめん…
私…私…

うおっ…狭いね
少し入れただけなのに
締め付けが半端ないな
あうっ…
はぁ
はぁ
はぁ
ぐいっ
ねちょっ
ズブッ

あうっ！
ビクン
はぁ
はぁ
はぁ
ズブ
ビクン
ズボッ

やだ…
何これ…
ああああっ
はぁ
はぁ
はぁ
ぬぷ
ぬぷ
イ〜ン
イ〜ン
やっぱり若い娘の
おま○こは最高だな
圭くんの時と
全然違う…

やだ…
声が出ちゃう…
あああっ…
ダメ…
気持ち良いなら
我慢しなくて
良いんだよ
頭の中が…
白くなる…
ビクッ
ビクッ
じゅん
じゅん
ビクッ
ビクッ

おじさんそろそろ限界だ
このまま中に出すよ
えっ!?
ちょっと待って！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
パン
パン
パン
ゴムしてない
んですか？
おじさんゴム
嫌いだからね
ダ、ダメです！
絶対にダメ！

仕方ない…
今回は外に出して
あげるよ
ああああっ…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
パン
パン
パン
パン
パン
イくぞ!!
はあっはあっ…
あああああっ!!

ビクン
ビクン
ぴゅっ
ぴゅっ
ああああああっ!!
ビクン
ビクン
ぴゅっ
ぴゅっ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
…私…
言出しちゃったんだ…
もぉ後戻りできないよね

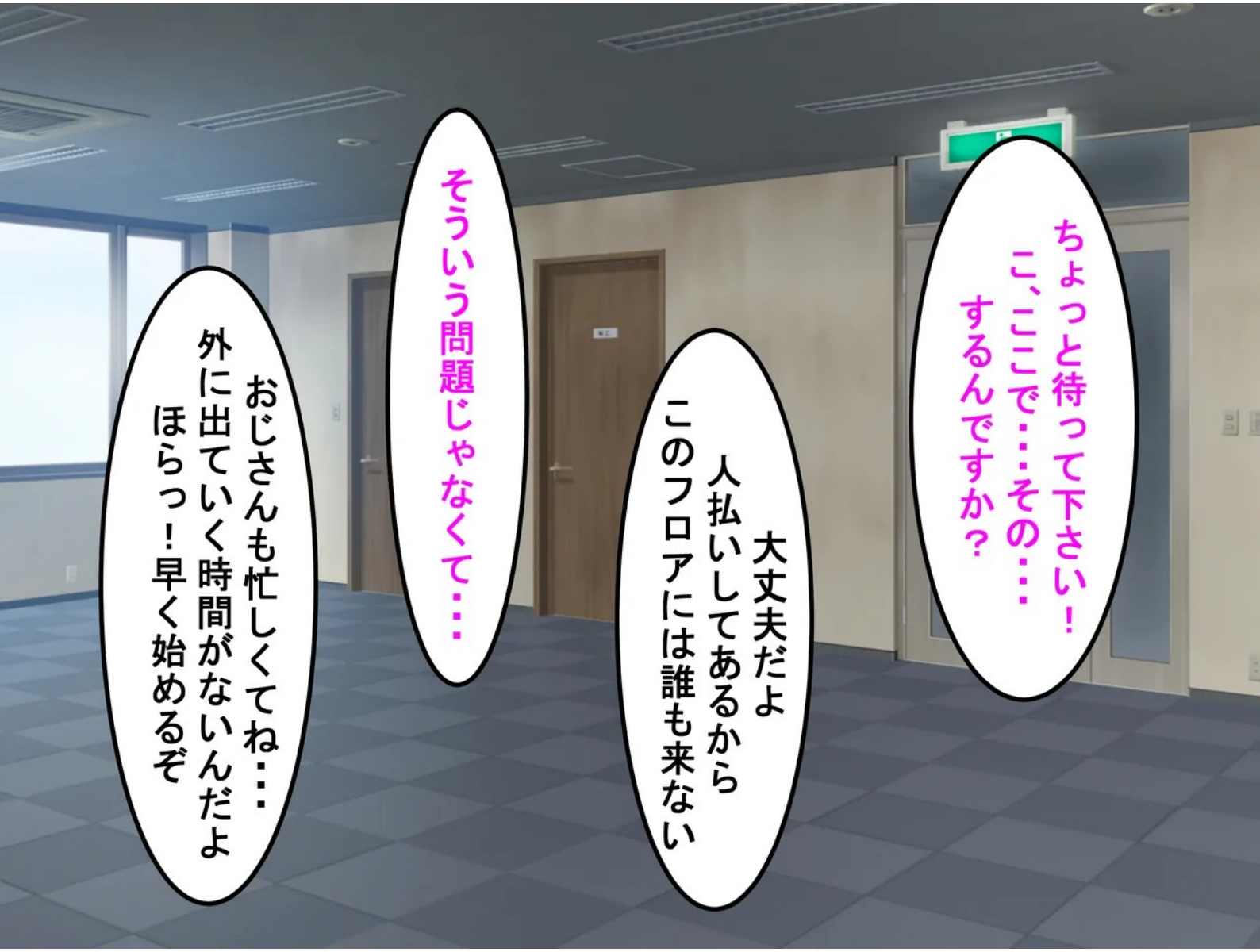
それじゃぁおじさん
会社に戻るから
まだ少し時間があるから
奈緒ちゃんは少し休んでいきなさい
ここにお小遣いとホテル代
置いておくからね

ううっ…
圭くんを裏切っただけじゃなくあんなおじさんのおち〇ちんに感じちゃったよ…
ごめん…圭くん
私…
最低…
ううっ…

なぁ奈緒…
アルバイトつらかったり
するのか？
えっ⁉
ど、どうしたの？
いきなり…
いや…なんていうか
最近元気が無いから
疲れてるのかなって…

そんな事ないよ…
それなら良いんだけど…
でも困った事があれば何でも言えよ
うん…ありがとう圭くんは優しいね…
そんなの当たり前だろ！

圭くんは本当に優しい…
それなのに私は…
言えるわけがないよ…
圭くんの事を裏切っているなんて…
ぎゅっ


ちょっと待って下さい！
こ、ここで…その…
するんですか？
大丈夫だよ
人払いしてあるから
このフロアには誰も来ない
そういう問題じゃなくて…
おじさんも忙しくてね…
外に出ていく時間がないんだよ
ほらっ！早く始めるぞ

もっとも奈緒ちゃんの声が大きすぎれば警備員が駆け付けちゃうかもしれないけどね
そんなぁ…
そんな事言っておま○この方は準備万端みたいだぞ
そんな事無いですから!!

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
だいぶすんなり入るようになったな
おじさんち○ぽの大きさに馴染んできたみたいだね
ビクン
はうっ…
もう少し早く動かすからね
ぬちゅっ
ズブッ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
で、でも…
ああっ…あんっ…
あっ…あっ…
はあっはあっはあっ…
あああああっ!!
そんなに大きい声出したら誰か来ちゃうぞ
ズプッ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ズプッ
ぬちゅ
ズプッ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
は、はい…
時間も無い事だし
このまま中に出すぞ
あんっ…あんっ…
ちゃんと避妊薬は
飲んできた？
ズブ
ズブ
ズブ
ズブ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

あっ…あっ…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクン
ビクン
ビクン
ドクドク
ぶじゅ〜っ
どぷっ
ドクドク
ああああっ!!
凄い…温かい精子が流れ込んでくる…

今日もこんな所で悪いね
もう慣れました…おじさん忙しいから仕方ないですよ…
あっ…あっ…
ああっ…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

最近素直になったよね
おじさんのおち〇ちん
そんなに気に入った？
そ、そうじゃありません…
お母さんのためです！
それにいろいろ考えても
仕方ないと思って…
ああっ…凄い…
はあ
はあ
はあ
はあ

おじさんのおち○ちんも
気に入って貰える様に
頑張っちゃおうかな！
ちょ…待って
何を…
あっ…あっ…
ダメ…そんなに
されたら…
はあ
はあ
はあ
はあ
パーン
パーン

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
どうだ？
おじさんのおち〇ちん
気持ちいいだろ？
き…気持ち
よくなんか…
ああっ…
パン
パン
パン
ズブ
ズブ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
だめぇ～っ!!
そんなに激しく突いたらぁ…
はあっはあ
あああああっ!!
パン
パン
パン
ズン
ズン

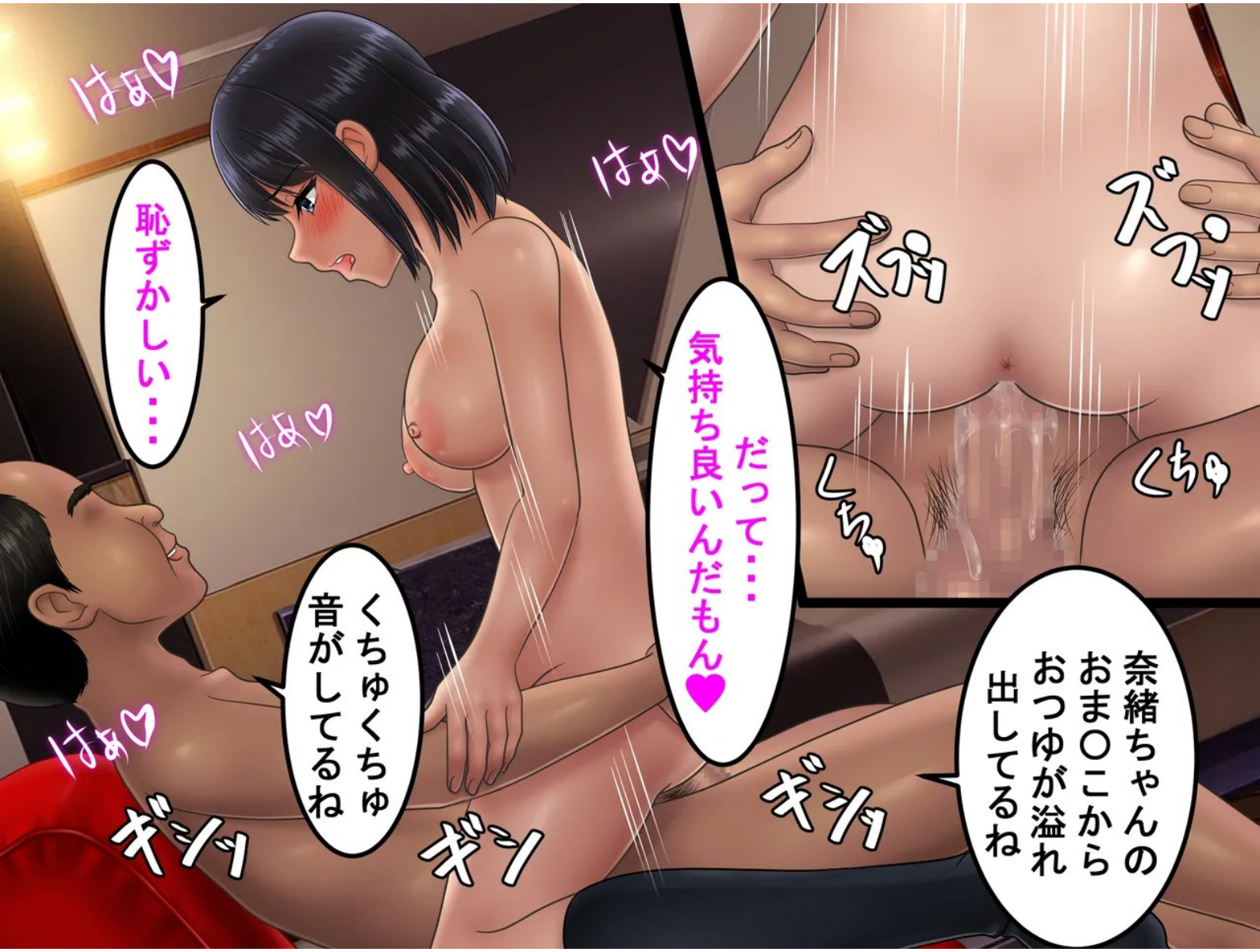
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ああああああっ!!
そんなにされたら
イっちゃう!
イっちゃうよぉ!!
パン
パン
パン
ズっ
ズっ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ああああっ!!
凄く気持ち良い♥
どぴゅっ
どぴゅっ
ドクドク
ドク
どぴゅっ
ビク
ビク

気持ちよかった
みたいだね
大きい声で叫ぶから
人が来ないかハラハラしたよ
どろっ
…ええ…まあ…
気持ちよかった…です
でも…
はぁ
はぁ
はぁ
でも？

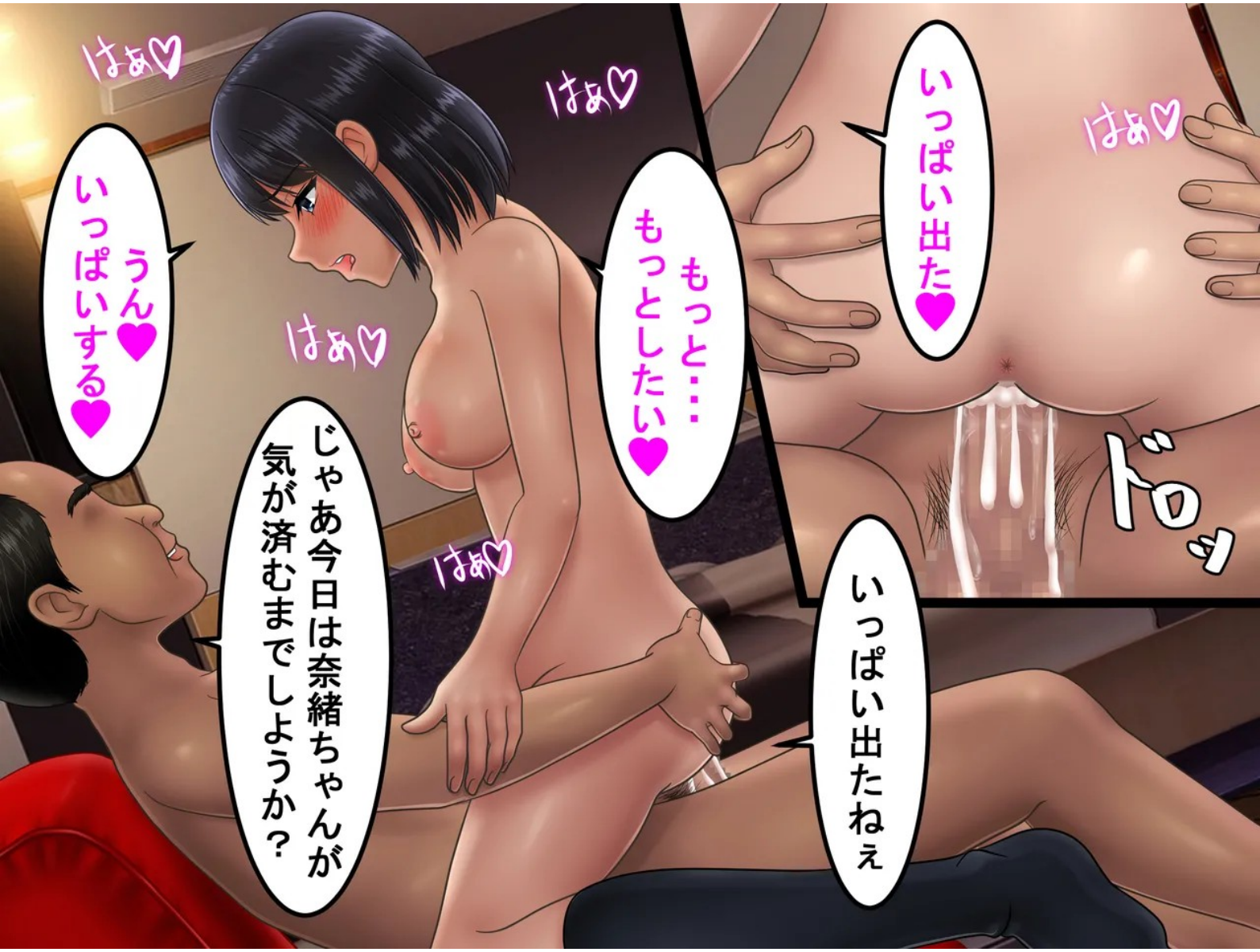
エッチするなら
ホテルの方が良い…かな♥
ごめんな
おじさん忙しいから
いっぱい声
出せるし♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ギシ
ギシ
ギシ

おじさんのおち〇ちんは？
どうして？
え～っ…おち〇ちんは…好き♥
気持ち良いから♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
うん♥
はぁ♡
そうか…気持ち良いか
ギン
ギン
ギン


はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
恥ずかしい…
だって…
気持ち良いんだもん♥
くちゅくちゅ
音がしてるね
奈緒ちゃんの
おま○こから
おつゆが溢れ
出してるね
ズブ
ズブ
くちゅ
くちゅ
ギン
ギン
ギン

ああああっ…ああっ!!
気持ち良い…
気持ち良い♥
はあっはあっはあっ…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ズン
ズン
ぐちょ
ぐちょっ
ぐちょっ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
いっぱい流れ込んでくる♥
あああああっ…
どぷっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ドク
ドク
ドク


いっぱい出た♥
はぁ♡
ドロッ
いっぱい出たねぇ
もっと…
もっとしたい♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
うん♥
いっぱいする♥
じゃあ今日は奈緒ちゃんが
気が済むまでしようか？

放課後

奈緒！

け、圭くん…
どうしたの？
今からバイト
行くのか？
うん…
これからバイト…

おまえ大丈夫か？
えっ⁉何が？
何って…最近バイトばかりじゃないか？
うん…
今度は奈緒が倒れるんじゃないかって俺心配なんだよ
バイト増やさなければならないほど困ってるのか？

俺も一緒にバイトするよ！
奈緒とおばさんのために
何かしたいんだ…
いや…その…
ありがとう…
でも大丈夫だから…
遠慮するな
俺少しでも奈緒の
力になりたいんだよ

ありがとう圭くん…
でも本当に困ってるって
訳じゃないんだ…
だから…
アルバイト遅れちゃう
から私もう行くね
圭くん
ごめんなさい…
奈緒…

奈緒はあんな風に
言ってるけどきっと
俺に迷惑をかけまいと
思っての事だよな
水くさいぜ！
俺はお前のために
なら何でもするぞ

おばさんが倒れて
困ってないはずがない
奈緒のバイト先知らないけど
今からなら追いつけるはずだ！

…とは言ったものの
少し無謀だったかな
四菱銀行
Family store
Family store
いた！
以前このあたりで
別れた事あるけど…
ちょっと待って…

お～い！奈緒
ちょっと待って…
ダメだ気付かない
!?
誰だよそのおっさんは…
まさか…
いや…
奈緒に限って…
って…ここ
ホテル街じゃねーか！
スタッフ
募集
29～24万円
10:00～18:00
18:00～翌9:00

最近奈緒ちゃんからの
お誘いが多いからおじさんの
精子枯れちゃいそうだよ
だから今日は一番高い
栄養ドリンク飲んできたよ
HOTEL PIA
10:00~18:00
18:00~翌9:00

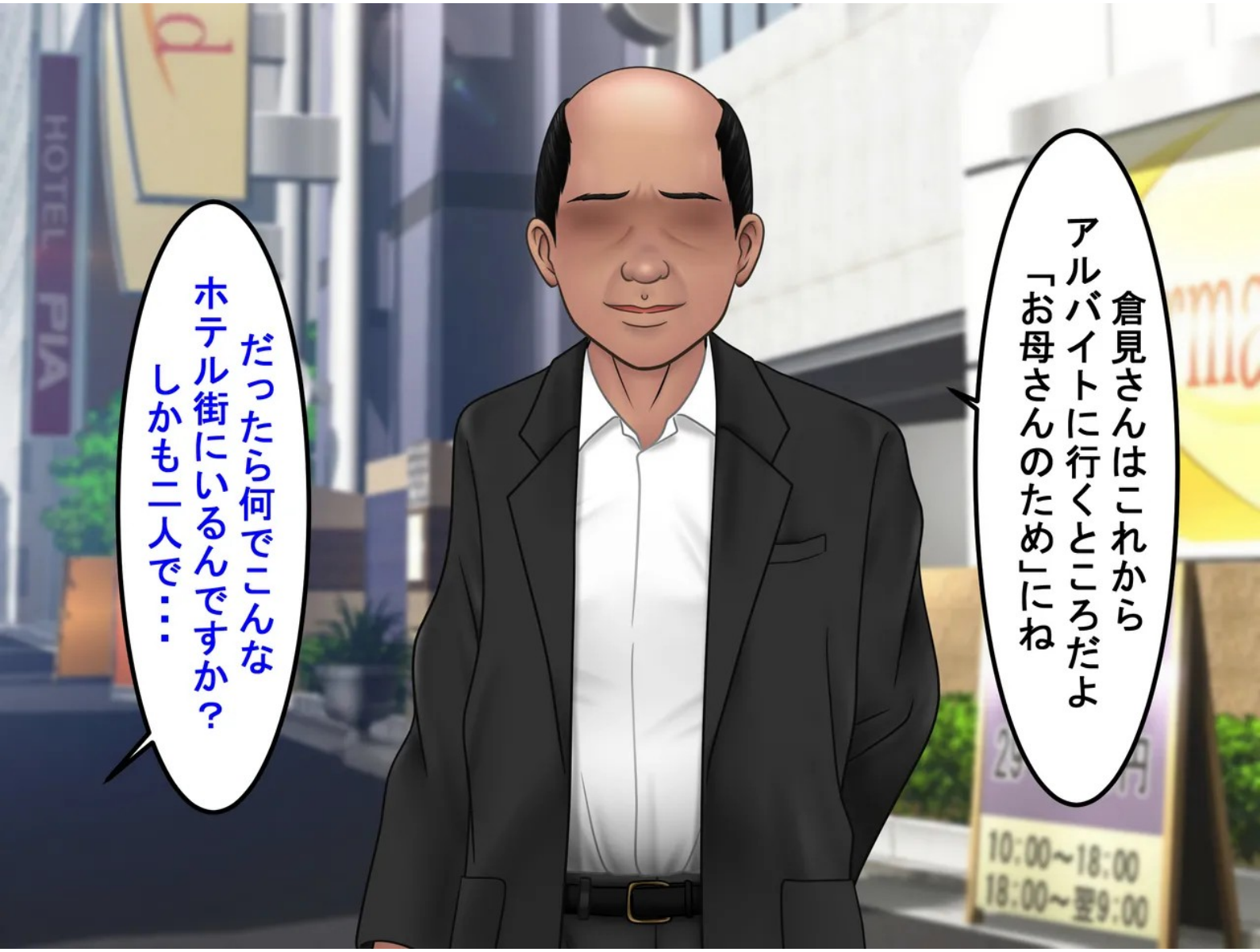
そうなんですか？
じゃあ今日はいつも
以上に期待出来そう♥
ダメです！
空になるまで搾り
取っちゃいますから♥
ほどほどに頼むよ
29~24万円

奈緒！
こんな所で
何やってるんだよ！
バイトに行くって言ってたのに・・・
隣のおっさん誰だよ!!
Mermaid
Mermaid
P
10;00~18;00
18;00~翌9;00

なんで…
なんで圭くんがここに…
なんでってお前の事が
心配だったから…
募集
29~24万円

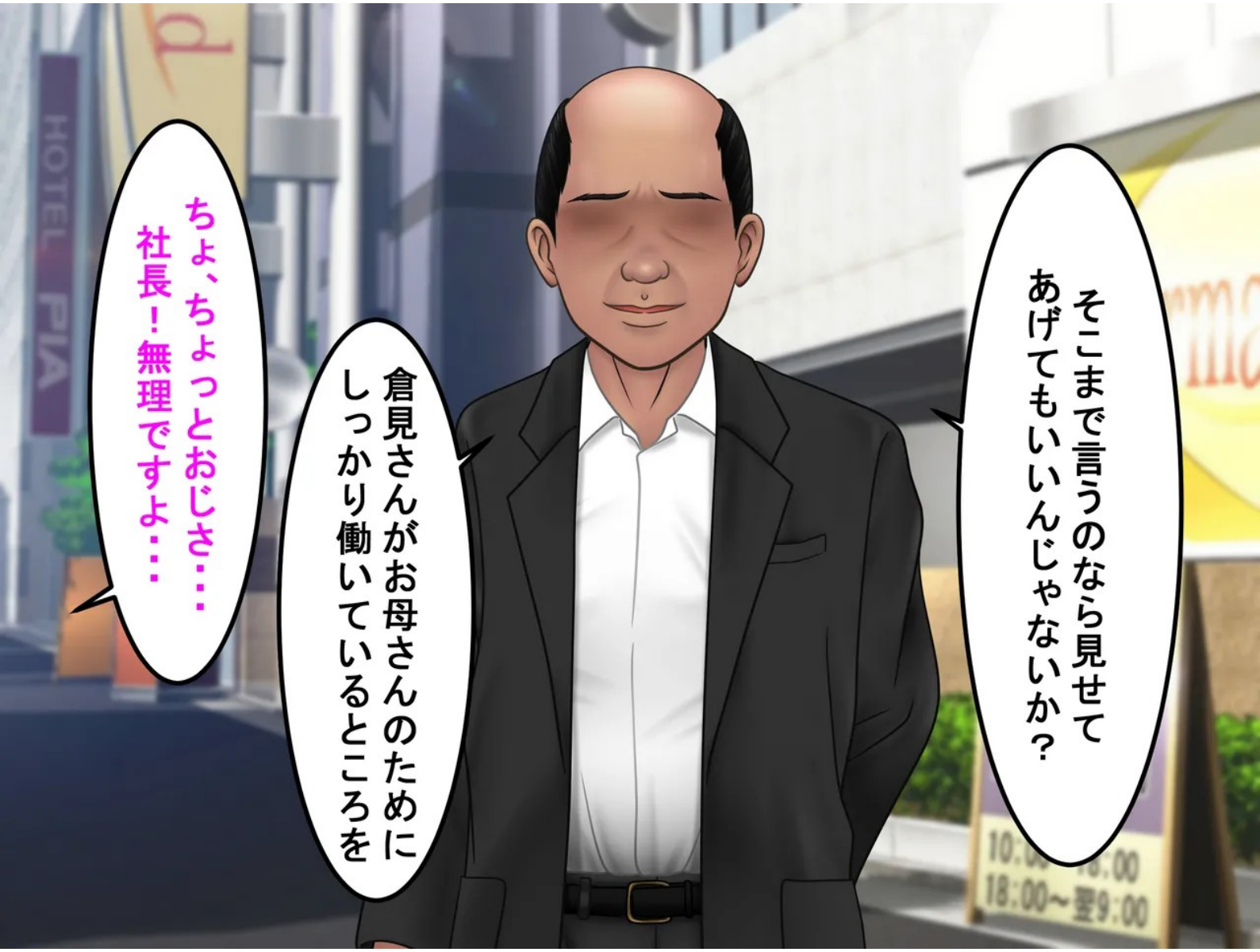
それよりも何でこんな所に…
ここホテル街だよな？
29~24万円
……
まさかお前援助交…
いや、そんな事はしないよな

はじめまして
私は倉見さんの勤め先の
社長をしている山下です
君は・・・？
奈緒・・・倉見さんと
付き合っている入谷です
おおそうか君が入谷君か
倉見さんから話は聞いているよ
HOTEL PIA
18:00～翌9:00


倉見さんはこれから
アルバイトに行くところだよ
「お母さんのため」にね
だったら何でこんな
ホテル街にいるんですか？
しかも二人で・・・
HOTEL PIA
10:00~18:00
18:00~翌9:00

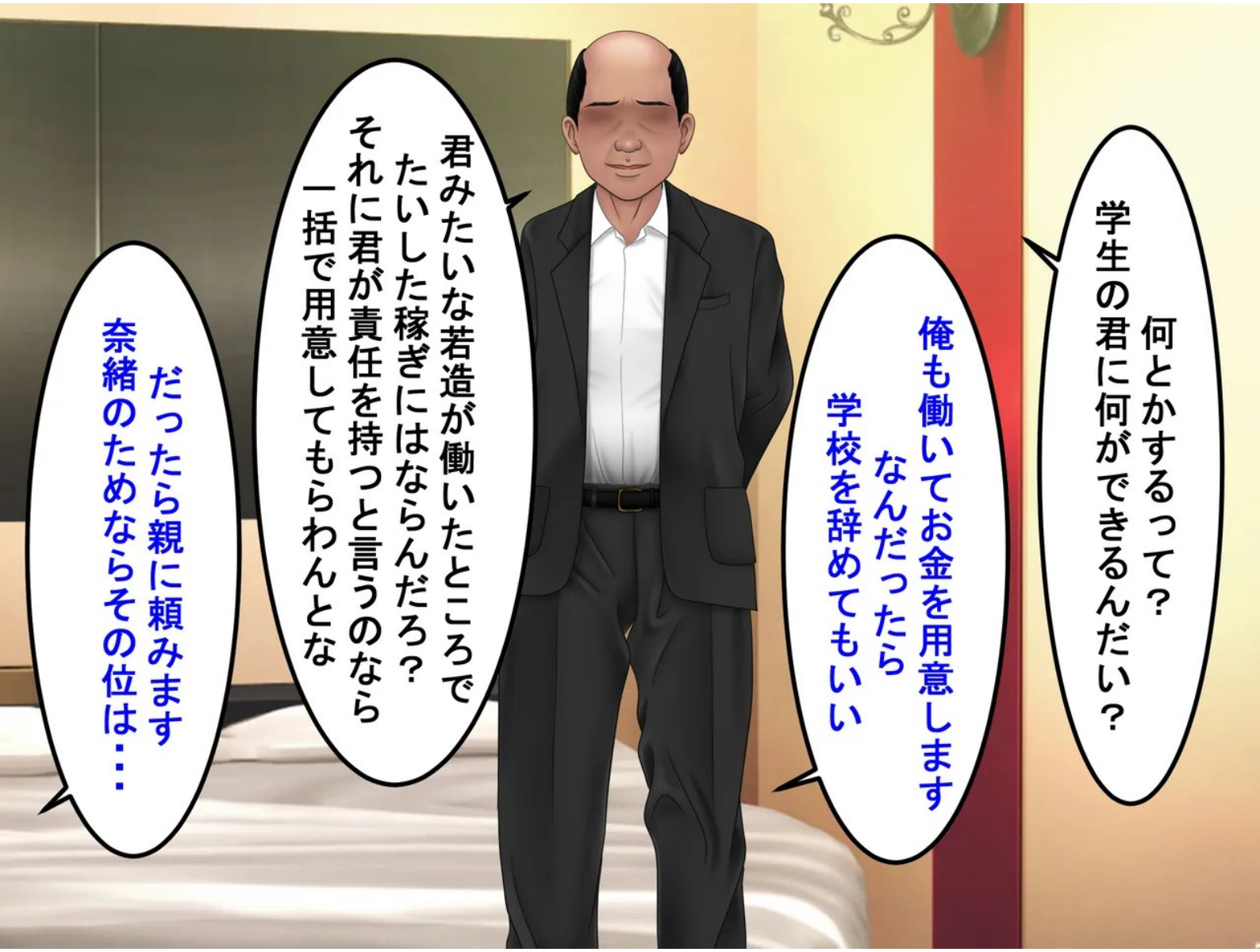
君が心配する事は何も無い
だったら・・・
一緒について行っても
問題無いですよね
奈緒の仕事している姿を
見学させて下さい
Mermaid
P
募集
10;00~18;00
18;00~翌9;00

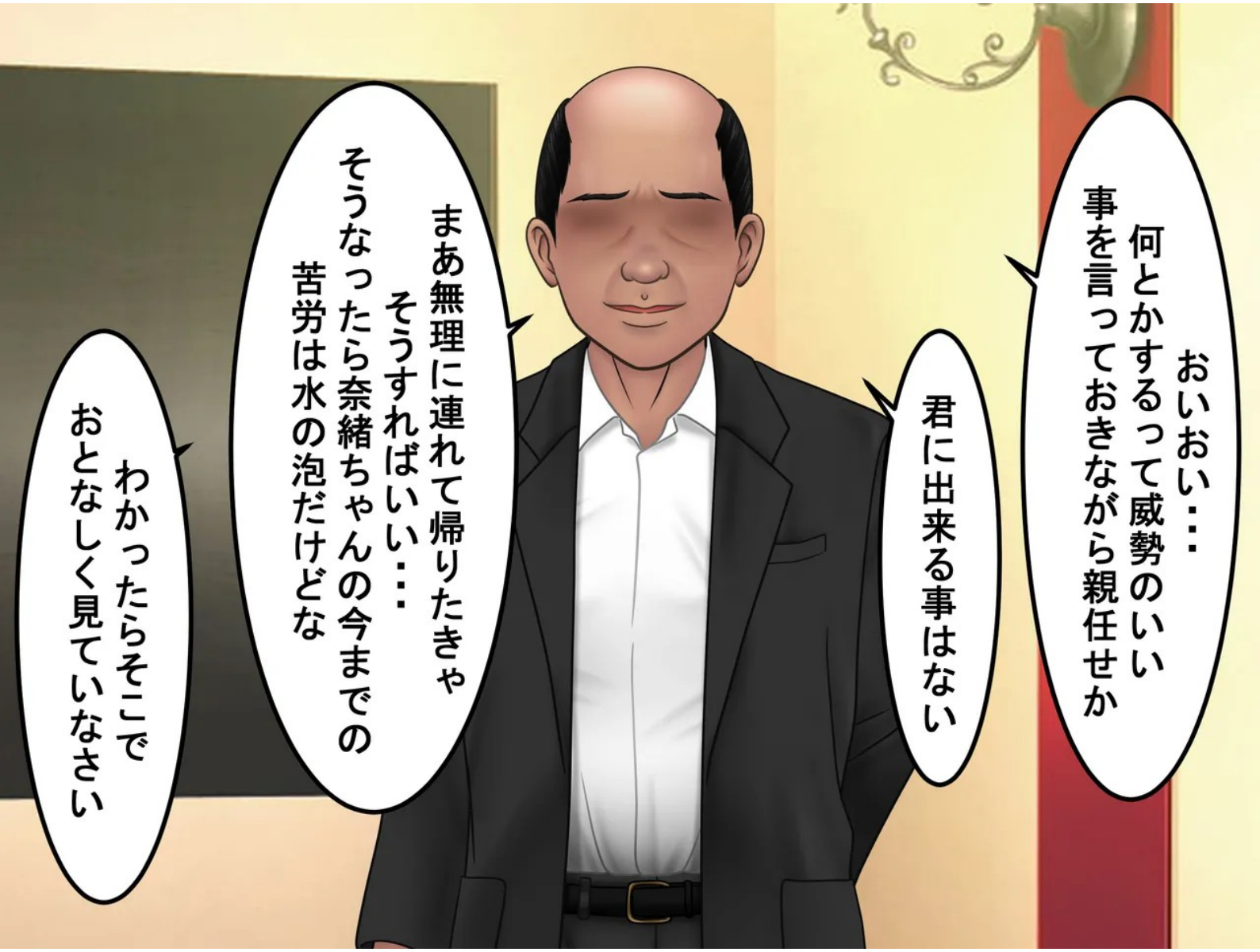
な、何言ってるのよ！
そんな事出来る訳無いじゃない
アルバイト先に迷惑が
掛かるし・・・
で、でも・・・
奈緒の仕事ぶり確認したら
すぐに帰るから
29~24万円


そこまで言うのなら見せてあげてもいいんじゃないか？
倉見さんがお母さんのためにしっかり働いているところを
ちょ、ちょっとおじさん…社長！無理ですよ…
HOTEL PIA

ちょっと待ってくれ…
なんだよこれ…
アルバイトじゃないのかよ…
ごめんなさい…
何か理由があるんだよな…
でなきゃお前がこんな事を…
じつは…

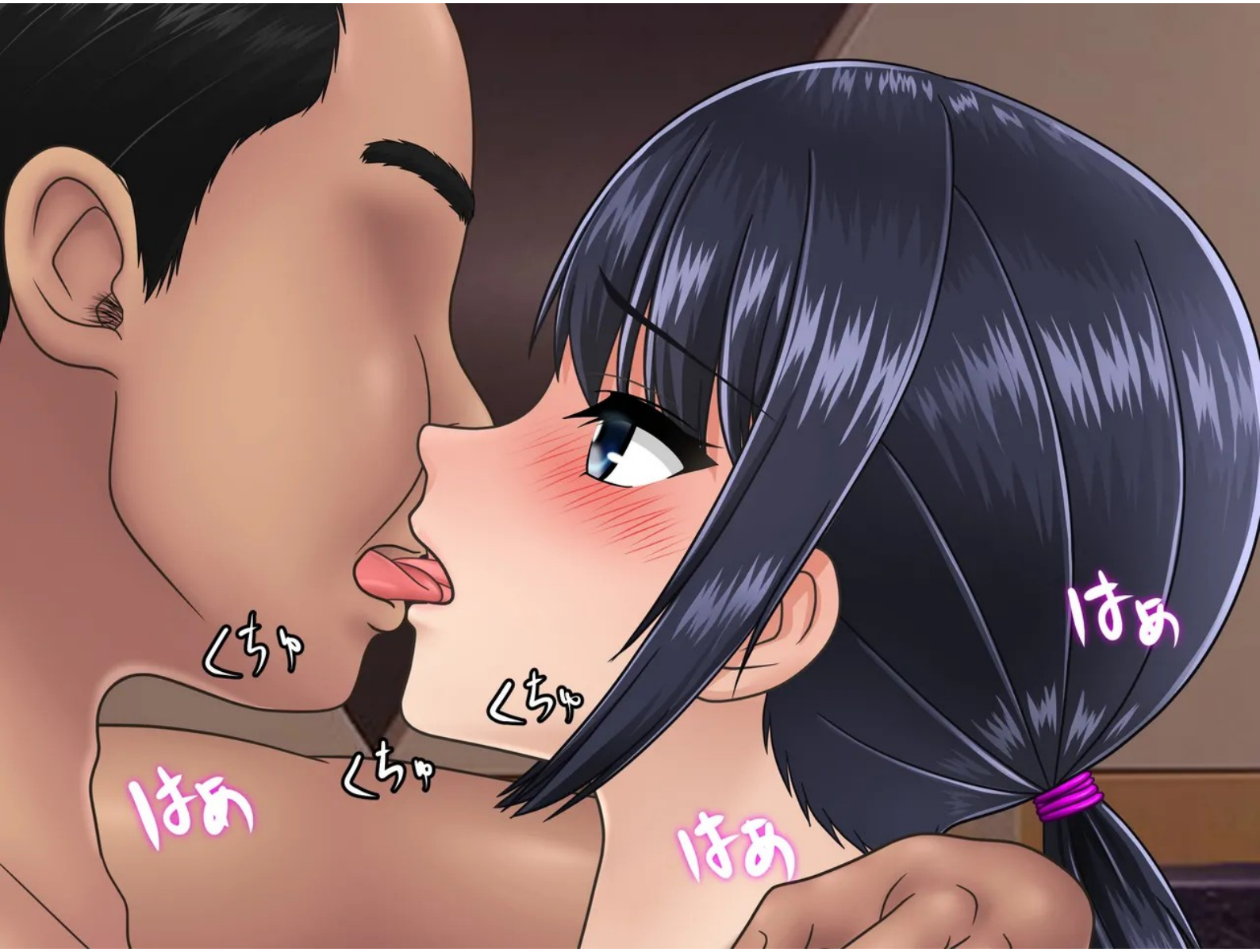
理由はわかった…
でもやっぱりおかしいよ
おばさんのためとはいえ
奈緒がこんな事するのは！
俺が何とかするから…
だから今すぐここを出よう


何とかするって？
学生の君に何ができるんだい？
俺も働いてお金を用意します
なんだったら
学校を辞めてもいい
君みたいな若造が働いたところで
たいした稼ぎにはならんだろ？
それに君が責任を持つと言うのなら
一括で用意してもらわんとな
だったら親に頼みます
奈緒のためならその位は・・・

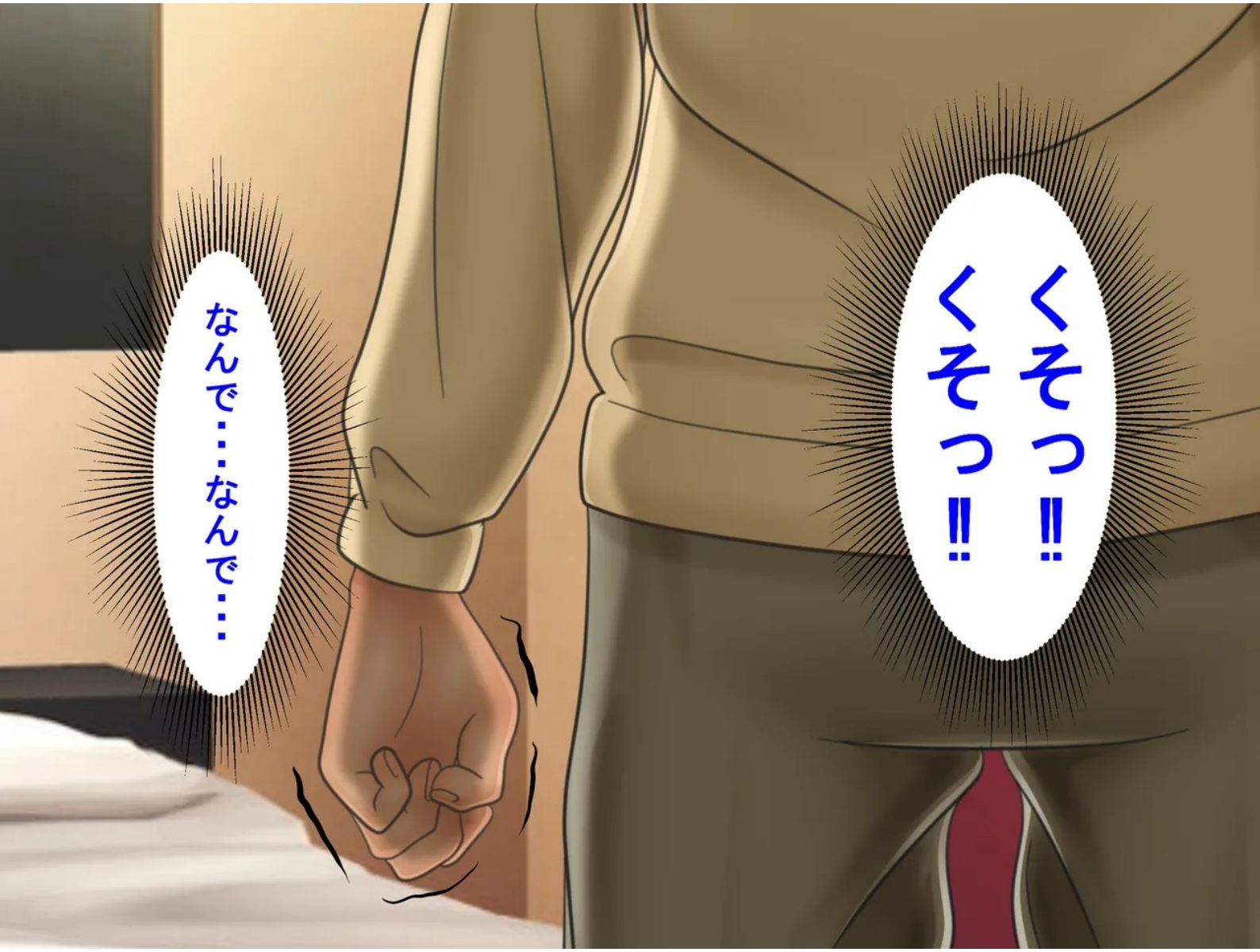

おいおい・・・
何とかするって威勢のいい事を言っておきながら親任せか
君に出来る事はない
まあ無理に連れて帰りたきゃそうすればいい・・・
そうなったら奈緒ちゃんの今までの苦労は水の泡だけどな
わかったらそこでおとなしく見ていなさい

本当に圭くんが見てるところでするんですか？
奈緒ちゃんはお母さんのためにするんだから恥じることはない
そうですけど・・・
ほら！服を脱いでこっちに来なさい・・・

本当に俺に出来る事は無いのか…
このままじゃ奈緒が…俺の奈緒が…
ちくしょう…ちくしょう…
ちょっと待ってくれ…
なんでそんなおっさんの言う事に
素直に従ってるんだよ…


くちゅ
くちゅ
くちゅ
はぁ
はぁ
はぁ

チラッ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
はぁ
はぁ


くそっ!!
くそっ!!
なんで…なんで…

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ごめん…
圭くん…

んんんっ
んんんんっ…
くちゅ
くちゅ
くちゅ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ♡
はぁ♡
おち○ちん大きくなってる♥
おじさんも興奮してるんだ♥
ぎゅっ
はぁ♡
はぁ♡

あっ…
キスしただけなのにだいぶ濡れてるね
ああっ…
彼氏に見られてるから興奮しちゃったのかな？
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
くちゅ

いやらしいおつゆがいっぱい出てきた
はあっ…はあっ…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ああっ…
くちゅ
くちゅ
くちゃ
くちゃ

ああっ…だめっ…
そこっ…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ビクン
くちゅ
くちゅくちゅ
…できない
我慢できない…
欲しい…
ビクン

何？聞こえないよ
いつもみたいに
お願いしたら？
うん・・・
私のおま○こに
おじさんち○ぽ
入れてください♥
じゃぁ今日は
奈緒ちゃん自ら
入れてみる？
うん♥

もうやめてくれ…
俺の奈緒をこれ以上
汚さないでくれ…

やめろ!!それ以上は・・・
お願いだからやめてくれぇぇぇ!!
ううっ♥
じぃ〜
ぬちょっ

はうっ♥
ズブッ
あああああ!!

おち○ちん入った♥
奥まで入った♥
うん♥
入ったねぇ
好きなように
動いてごらん
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ぬちゃ

ああああっ♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ズボッ
ズボッ
ぐちょっ
ぐちょっ
パン
パン
ああああっ♥
気持ち良い♥

ズン!
ズン!
ああああっ…
おじさんのおち○ちん
いつもより硬いかも♥
ぐちょ
ぐちょ
ぐちょ
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
強力な栄養ドリンク
飲んだって言ったろ?
じゃぁいつも以上に
気持ちよくなれるね♥
ああ…
任せておけ

はぁ♡
あんっ…
はぁ♡
はあっ…んんんっ…
ズン!
ズン!
ズン!
くちゅ
くちゅ
くちゅ
はぁ♡
ああああっ
はぁ♡
んんんっ…
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ

あっ…あっ…
ああああっ♥
凄い…気持ちいい♥
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ああああっ♥
凄い…凄い…
おち○ちん奥まで
当たるぅ♥
ズン
ズン
ズン
パン
パン
パン

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
あああああっ…
くる…くる❤
気持ち良いのが
きちゃう❤
あああああっ…
パン
パン
パン
パン
パン

ああああっ…
ドクドク
どぷっ
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ビクン
ビクン
ビクン
ビクンビクンビクン

はあっはあっ…
最初から激しく腰振りすぎたから疲れちゃったのかな？
はあっはあっはあっ…
どうする？次は少し休んでからにする？

やだ…
このままする♥
じゃあ次はおじさんが
後ろから突いてあげるよ
うん♥
いっぱい突いて
気持ちよくさせてね♥

じいっ
じいっ
おじさん早くぅ♥
早くおち○ちん挿入(い)れてぇ♥

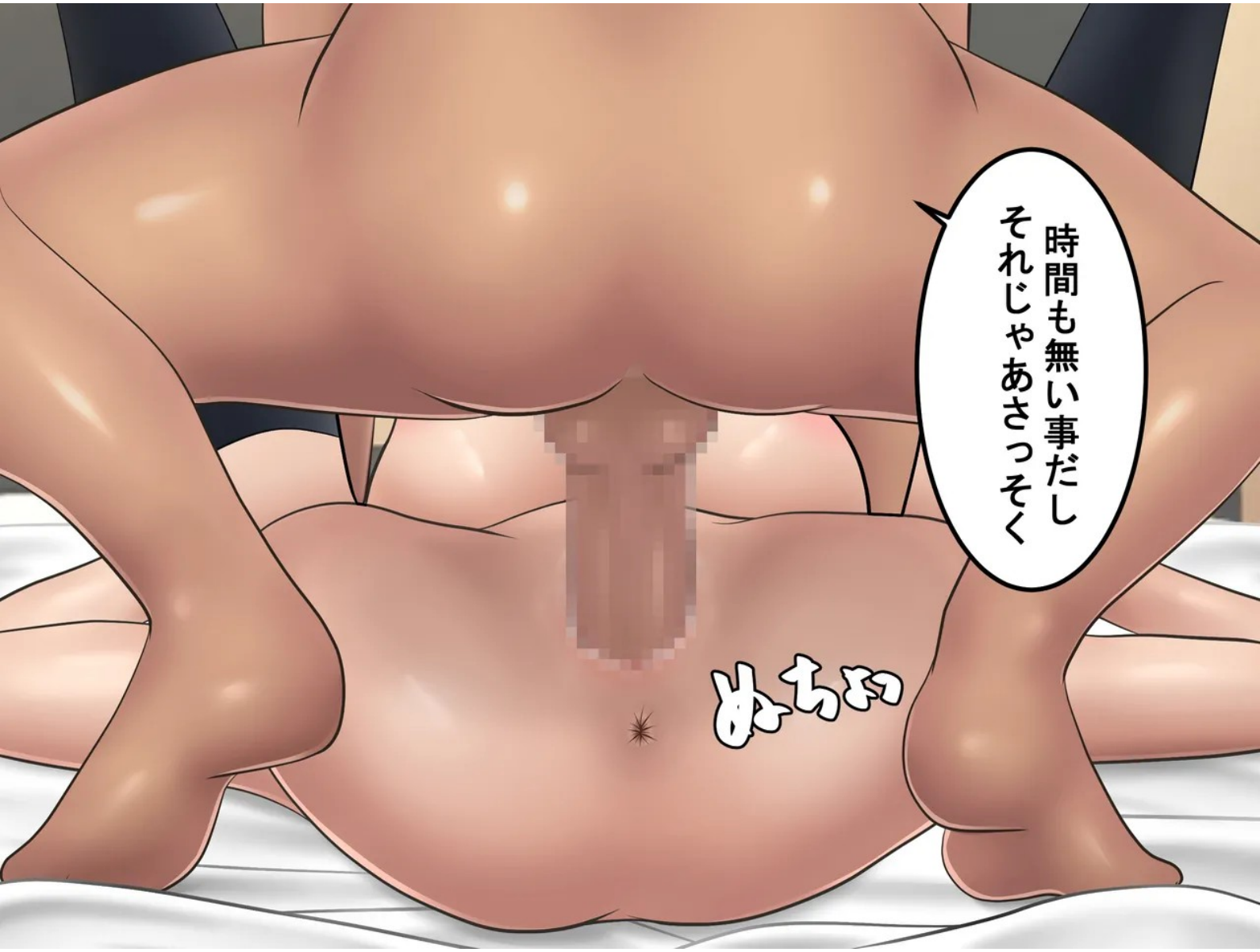
ビクン
ずぷっ
奈緒ちゃんは本当におち〇ちんが好きだねぇ
おち〇ちん♥
おじさんのおち〇ちん♥
はうっ♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

はあっ…
パン
パン
パン
ああああっ…
良いっ…良いっ♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
パン パン パン
もっとぉ♥
もっと突いてぇ♥
もっと
奥までぇ♥
じゅぽっ
じゅぽっ
はぁ♡
はぁ♡

ビクン
ビクン
はぁ♡
ああああっ…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ビクビク
ビクビク

はぁ♡
ごめん奈緒ちゃん
時間的にあと一回が
限度だけど・・・する？
もちろん
したいです♥
どろっ
はぁ♡
はぁ♡


時間も無い事だし
それじゃあさっそく
ぬちゃ

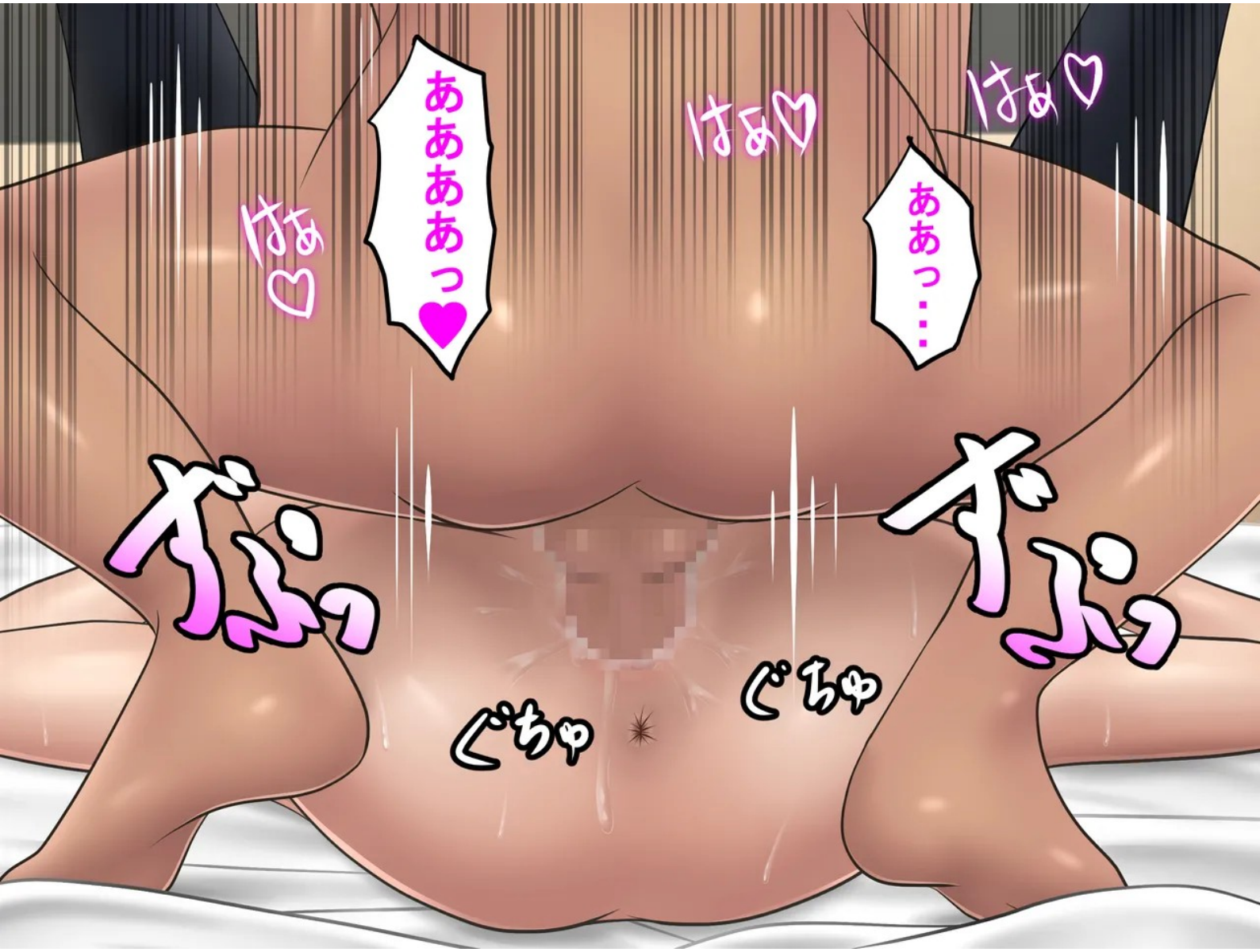
あぁっ♥
ずぶっ
ずぷ!!

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
おじさん…
最後だから一番激しく
して欲しいな♥
まかせておけ…
うん♥
楽しみ♥
おじさんち〇ぽで
奈緒ちゃんのおま〇こ
ぐちゅぐちゅに
かき回してやるぞ

はぁ♡
はぁ♡
ズブッ
ううううっ…
一番奥までおじさんち○ぽ
入ってくるぅ♥
はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
あああああっ…
ぐちょっ
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はあっ…はあっ…
き、気持ち良い♥
ずぶっ
ずぶっ

はうっ♥
はあっはあっはあっ…
じわっ


はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
あぁっ…
あああああっ♥
ぶっ
ぶっ
ぐちゅ
ぐちゅ

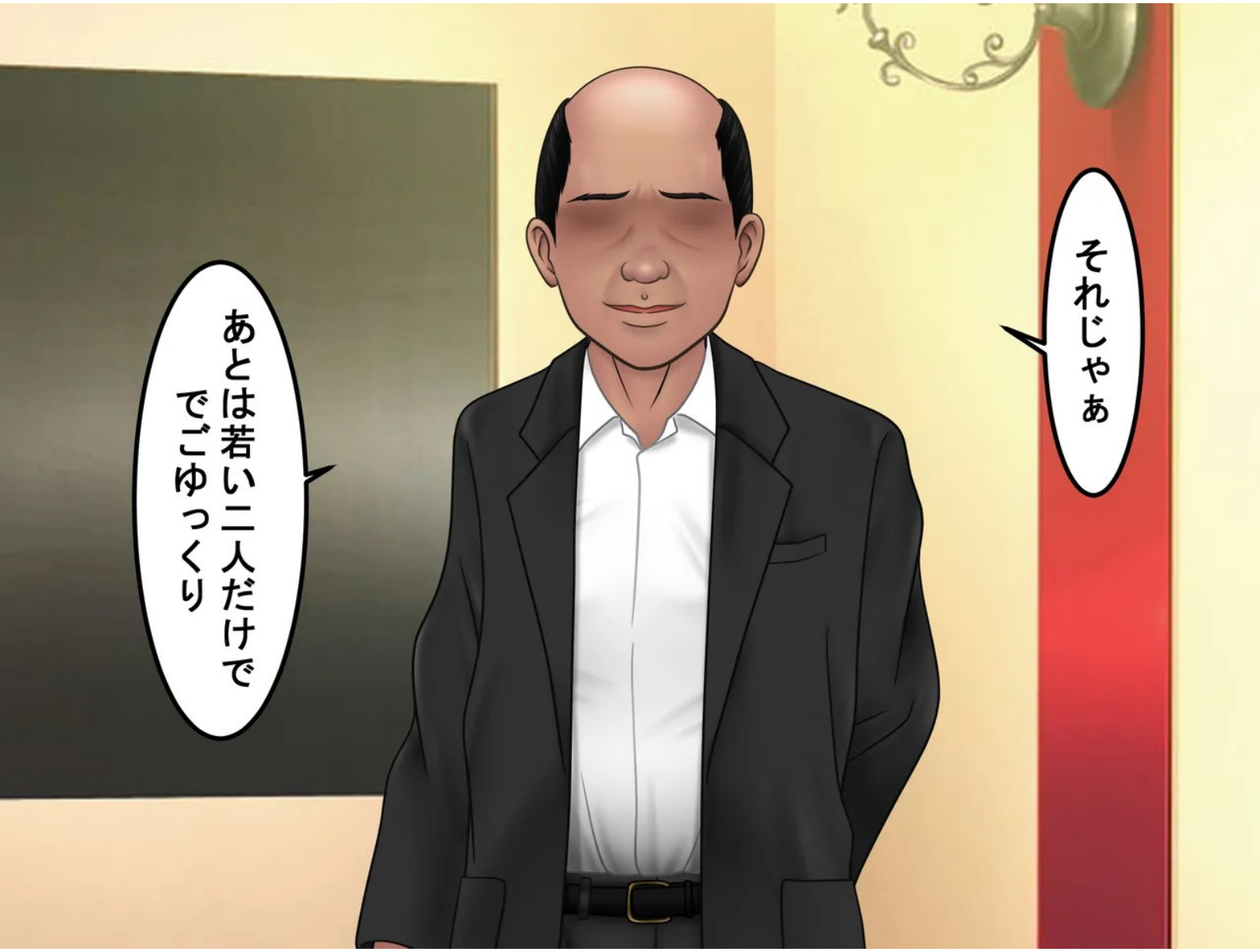
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
奈緒ちゃん…
おじさんそろそろ
限界だ…
えっ⁉
もう終わっちゃうの？
…わかった
ごめんな…
時間も差し
迫ってるし…
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ

イくぞ!!
あああああっ…やだっ…凄い…
あああっ
私も…
私もイっちゃう…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
パン
パン
パン

はぁ♡
はぁ♡
はうっ
ああああああっ❤
はぁ♡
はぁ♡
ドクドク
どぷっ

おじさんの精子
私の一番奥に
流れ込んでくる♥
実は切らし
ちゃってて…
ちゃんと避妊薬
飲んでる？
たぶん安全日だから
大丈夫だと思う…
もしもの時はちゃんと
責任取ってやるから
安心しなさい
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
おじさんもう
会社に戻るから
どくっ
いつものお小遣いとホテル代は
ここに置いておくよ


それじゃあ
あとは若い二人だけで
でごゆっくり

奈緒…
圭くん…

ごめんなさい…
本当にごめんなさい…
できれば圭くんには
知られたくなかった…

俺のほうこそごめん・・・
俺・・・奈緒を守れなかった・・・・
何とかするって言いながら・・・
本当は嫌だったんだろ？
でも・・・俺・・・見ている事しか
できなくて・・・

そりゃぁ最初は嫌だったよ…
でも…仕方がないんだよ
私も圭くんも学生だから出来る事なんて限られている…
お母さんを助けるには仕方がなかったんだよ…

でも心配しないでね・・・
私の一番は圭くんだから・・・
END
どろっ